

地域福祉のアップデート！

予約殺到！

～民生委員の負担軽減と地域セーフティネットの強化へ～

日本基準寝具株式会社は、2026年5月20日（水）、岩国市麻里布地区・柱島地区民生委員児童委員協議会の皆様が来場され、昨年5月に開設した福祉用具のメンテナンスセンター「エコールトータルケアセンター」にて、『地域福祉のアップデート』を目的とした見学・勉強会を開催しました。

本取り組みは、2025年5月に某テレビ番組にて、当センターが特集された際、岩国民生委員の会長様より、「学びの場にしたい」と直接お問合わせをいただいたことから始まりました。2025年11月にも岩国市の別の地域から13名参加いただき、2回目となる今回は、35名が参加。当日夕方には、早くも別地域から9月に第3回、10月に第4回と、次回開催のご予約をいただくなど、地域福祉の現場における「最新介護知識」への切実なニーズと反響が浮き彫りとなっております。



【民生委員がなぜ福祉用具を学ぶのか】

現在、日本の地域福祉の要である民生委員・児童委員は、住民の高齢化や社会的孤立（孤独死、8050問題など）の深刻化に伴い、業務の過酷化が叫ばれています。さらに委員自身の高齢化と、なり手不足も重なり「従来の戸別訪問だけでは地域を守り切れない」という構造的な課題に直面しています。こうした中、住民の一番近くにいる民生委員が、最新の福祉用具や介護テクノロジー、そして安全な衛生管理の基準を知る事は、単なる知識向上に留まりません。「在宅介護の限界を道具でどう広げるか」「見守る側の負担をどう減らすか」という、地域の持続可能性（サステナビリティ）に直面する重要な場となっております。

【当日の様子】

麻里布地区・柱島地区の民生委員35名は、当センターの4つのフロアをめぐり、地域を支える福祉用具の裏側を熱心に勉強されました。

〈1階：洗浄・消毒フロア、2階：メンテナンスフロア〉

最新の洗浄機器による徹底した衛生管理と、一点一点手作業で行われる緻密なメンテナンス工程を見学。「ここまで丁寧に、安全に管理されているのか」といった驚きの声や、「レンタルより購入の方がいいのではないか？」といった専門的な質問が飛び交いました。



〈3階：展示ブース、4階：倉庫〉

大幅に拡充された倉庫を見学後、展示ブースにて最新の福祉用具や介護テクノロジーを実際に体験。会長様からは、委員皆様に向けて「ここまで一同に見て体験できる場所はない。とにかくいっぱい触れて体験をしてください。」といったお言葉があり、日々進化する用具の操作性や、介護負担を劇的に軽減する最新技術に触れ、委員の皆様からは具体的な活用をイメージする声が聞かれました。



【今後の展望】単なる拠点から地域福祉の「アップデート基地」へ

勉強会終了後には会長様より、「最新の福祉用具やテクノロジーの知識を入れて、私たちの脳をアップデートさせていかなければいけない」といったお話がありました。また、岩国市民生委員児童委員協議会より、「他の地域にもぜひ見学させたい」と、9月（約25名予定）および10月（約20名予定）の継続開催のご予約をいただきました。エコールトータルケアセンターでは、高品質かつ安全な商品を迅速にお届けする体制（最新機器の導入、倉庫・メンテナンスエリアの拡充）をハード面で整えるだけでなく、今後も民生委員の皆様をはじめとする地域包括キーパーソンをソフト面から支え、誰もが孤立しない安心な地域社会の実現に貢献してまいります。



エコールトータルケアセンターについて、
詳しくご紹介しております。
ぜひご覧ください。



当社は、「いくつ歳を重ねても、住み慣れた地域で、安心して笑顔でくらすサービスを提供しつづける」という理念のもと、安心して笑顔で生活していただくための支援を目的に、ご高齢者様のくらし全般の支援を行っております。

福祉用具貸与事業所を中心に、デイサービス、訪問介護、訪問看護などの在宅介護サービスから、生活支援事業、住環境支援まで、幅広いサービスを提供しております。

【本件に関するお問い合わせ】

日本基準寝具株式会社 エコール事業部 広報担当：深井、戸田
〒731-0124 広島県広島市安佐南区大町東1-18-44
TEL：082-877-1079 Mail：public@nihonkijun.jp